

なぜ、学校で音楽を学ぶのか。

一人一人の個性と多様性の尊重が叫ばれる中、音楽科の「学ぶ意義」はより一層、明確になるよう求められています。様々な音楽との出会い、それは自分自身の感性をもってぶつかっていくことであり、何より違う感性をもつ他者と協働して音楽を作り上げることで、新たな価値を生み出し、生きる喜びを発見することへ繋がるでしょう。その喜びこそが、いろいろな発想を呼び起こす視野と可能性を広げ、社会へと進む生徒の人生を支える糧ともなります。正解・不正解にとどまらない、それぞれに合った使い方で自分に生かせる、それが音楽之友社の「改訂版 高校生の音楽」シリーズです。

資料

西洋音楽の流れ History of Western Music

西洋音楽の流れ (改訂版 高校生の音楽 2 p.2)

音響盤の感性の鑑賞

歌唱

春への憧れ

春への憧れ (改訂版 高校生の音楽1 p.20)

鑑賞

歌舞伎「青砥菫花紅彩画」

歌舞伎「青砥菫花紅彩画」 (改訂版 高校生の音楽3 p.98)

器楽

和楽器に親しむ 三味線

和楽器に親しむ 三味線 (改訂版 高校生の音楽1 p.138)

創作

言葉からリズム&メロディーをつくらう

言葉からリズム&メロディーをつくらう (改訂版 高校生の音楽1 p.110)